

|    |    |
|----|----|
| ID |    |
| 氏名 |    |
| 年齢 |    |
| 科名 | 病棟 |

PEM + CBDCA +  
Pembrolizumab療法

3 週毎 6 コース予定

疾患名 悪性胸膜中皮腫

主治医 指導医  
スケジュール

HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )

| day 1            |                       |   |
|------------------|-----------------------|---|
| キイトルーダ(ペムブロリズマブ) | 200 mg/body           | ↓ |
| ペメトレキセド          | 500 mg/m <sup>2</sup> | ↓ |
| カルボプラチン          | AUC 5                 | ↓ |

- 【注意】
- \* 他剤使用時はペムブロリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。
  - \* インラインフィルター(0.2または0.22 μm)を通して投与すること。
  - \* ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g 分1で内服開始<sup>(注1)</sup>
  - \* ペメトレキセド投与の7日以上前より

メチコバル注500 μg 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)<sup>(注2)</sup>

注1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する

注2:投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② キイトルーダ 200 mg + 生食 50 mL 点滴静注 30分(100 mL/時間)
- (希釈後最終濃度が1～10 mg/mLとなるよう生食液量を調節する)
- ◎ メインの生食でフラッシュ

③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg + アロカリス 235 mg + 生食 100 mL  
点滴静注 30分(200 mL/時間)

◎ メインの生食でフラッシュ

④ ペメトレキセド + 生食 100 mL  
点滴静注 10分(600 mL/時間)

◎ メインの生食でフラッシュ

⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液250 mL  
点滴静注 60分(280 mL/時間)

◎ 終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2-3

必要時 デキサメタゾン錠 4 mg

内服

|                 | 1コース目 | 2コース目 | 3コース目 | 4コース目 | 5コース目 | 6コース目 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 月 日             | /     | /     | /     | /     | /     | /     |
| キイトルーダ<br>開始時刻  | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     |
| ペメトレキセド<br>開始時刻 | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     |
| カルボプラチン<br>開始時刻 | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     | ↓     |
| 確認              |       |       |       |       |       |       |